

第7代九州地方会会長挨拶

日本小児歯科学会九州地方会 創立20周年によせて

日本小児歯科学会九州地方会 会長 瀬尾 令士 (故人)
(第7代会長 平成14年4月～平成16年3月)



日本小児歯科学会九州地方会の創立20周年を迎えるに際し、私共は深厚なる感激と歓喜の念を強く抱くものです。また、同時に創立から今日に至る20年の間、学会の向上と発展のために献身的な御助言と御指導を賜りました歴代会長、役員各位並びに会員各位の諸先輩に対して、深い敬意と感謝の意を表するものです。お陰様を持ちまして、九州地方会では平成14年7月末日現在、会員数567名、認定医230名を数え、日本小児歯科学会6地方会の中で、2番目の会員数を誇る組織へと発展致しました。昨年11月3日(日)福岡県歯科医師会館にて、第20回日本小児歯科学会九州地方会大会及び20周年記念式典が多数の参加者の中で開催されました。午前中は創立以来、今日までご指導、お力添えを頂いた小椋正、後藤譲治両前教授の特別講演、続いて中田稔教授による教育講演が行われ、昼食時には真意島な雰囲気の中で式典が行われ、午後からは21世紀に向けての小児歯科医療の現状と未来についてのテーマでのシンポジウムやコ・デンタルスタッフ講演会などが行われました。

九州地方会では、20年間の歩みを心の楯とし、また、礎として、更に連携を深めながら、21世紀に向けてその時々の変化や要求に敏感に対応すべく、組織構成、通信伝達システム、学会活動、並びに財政などの各方面から検討を続けております。特に会員の学会への全員参加を目指し、意義深く魅力ある学会組織を実施できるよう、民主的且つ効果的な方法で人事構成を行い、九州7県よりその地域の会員の推薦や選挙により県代表幹事を選出するシステムを確立する事ができました。

これからも日進月歩、新たな九州地方会の在り方を皆様と共に構築していきたいと思っております。今後とも会員各位のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

(瀬尾令士先生は平成17年1月24日にご逝去されました。ここには、先生が20周年記念誌に寄せられたものを再掲しています。謹んでご冥福を祈念いたします。)